



『雇用企業インタビュー』

JR九州パレットワーク株式会社

令和元年度、特別支援学校高等部卒業生のうち 57 名が就労しました。その中で、6 名の生徒が今回ご紹介する JR 九州パレットワーク株式会社（九州旅客鉄道株式会社を親会社に持つ特例子会社）様に就労しました。その JR 九州パレットワーク株式会社様にご協力いただき、卒業生の就労状況及び障がいのある方の雇用についてインタビューさせていただきました。

■ 会社設立の経緯、障がい者雇用に対するお考えをお聞かせください。



弊社は 2019 年 4 月に会社を設立し、JR 九州を親会社とする特例子会社として 2020 年 5 月 25 日に認定を受けました。

昨今の経営環境において、多様な人材、働き方の活用というものが企業経営の重要な事項になっております。JR 九州におきましても、その一環として障がい者雇用の促進に取り組んで参りましたが、さらなる雇用機会の創出と長期的な雇用安定を図るために、一層の環境の充実が必要であると感じ、障がい者一人一人の個性が最大限に発揮される職場作りをすることを目的に会社を設立しました。

↑ 今回のインタビューをお答えいただきました

取締役 企画部長 久富様（左） と 企画部 総務グループ副課長 高野浦様（右）

■ 特別支援学校の生徒を採用することになった経緯についてお聞かせください。

先ほどのご説明の通り、2019 年 4 月に会社を設立しまして、まず特別支援学校をはじめにハローワークや就労移行支援事業所など、様々な関係機関へ訪問し、ご相談させていただき、お話をお伺いしました。採用ルートについて、当時は手探りの状態でしたが、弊社が設立したばかりの会社ということもあり、会社のカラー（風土）もない状態でしたので、就労経験のない特別支援学校の生徒を採用し、一から会社を作り上げていこうと考え、特別支援学校の生徒を採用するに至りました。

■ どのような人材を求めていますか？

そうですね、やはり本人が働きたいという意欲を持っていることです。例えば周囲の方、学校様や保護者様のお気持ちというよりは、本人が本当に働きたいという意欲を持っているという事が大きいのかなと思います。採用・実習の受け入れの際には、あいさつがしっかりできて会社のルールをしっかり理解していただくこと、そのルールを守ることができる、ということなどが最低限必要なのかなと感じております。



↑ 今年度就職した特別支援学校高等部卒業生の社員と職場の皆様

■ 面接時・実習ではどのようなところを見えていますか？

求める人材像と重なりますが、働く意欲とあいさつ、その会社のルールに基づいてしっかり行動ができる。そのような視点で面接・実習の様子を拝見させていただいております。

■ 仕事の内容はどのようなものがありますか？

まずは清掃業務です。JR九州の本社内の会議室、また弊社は鉄道会社の特例子会社でありますので、鉄道に従事している社員が宿泊する施設が多数あります。その施設の清掃を週3回行っております。次に印刷業務です。名刺や会議資料、チラシ等の印刷を行っております。また、郵便物の仕分・集配業務です。JR九州に到着する郵便物の仕分け及びJR九州の本社内の各部署に郵便物を1日に2回、集荷・配達を行っております。

その他にもクルーズトレインななつ星 in 九州に乗車されるお客様にお配りするアメニティグッズの準備や駅に掲出するポスターを梱包して発送する業務等を行っております。

【1日のスケジュール】

就業時間は9時～17時(1時間休憩)です。会議室の清掃は日中の使用頻度が高いため、月に3回～4回、早出勤業務とし、朝の8時から9時の間に二人体制で清掃業務を行っております。また、朝礼・終礼は本人たちで行います。朝はラジオ体操の後、朝礼を実施、企業理念の唱和や連絡事項の確認・共有を行い、また1分間スピーチも実施しています。終礼では連絡事項確認・共有の他に早番担当者の確認を行っております。その日の担当業務については各個人でスケジュール表を確認しながらペアを組んで行っております。

業 務 内 容

- 清掃業務：会議室・従業員宿泊施設の清掃
- 印刷業務：名刺・会議資料・チラシの印刷
- 宅配業務：日報（郵便物の集荷・宅配）
- その他：列車のアメニティグッズ等の準備
ポスターの梱包・発送 など



↑社員の宿泊施設の清掃・ベッドシーツ交換のようす



↓クルーズトレインななつ星 in 九州に飾る花を生けました!!



↑封入のようす



↑郵便物の仕分けのようす



↑郵便物の集配のようす



↑ポスターの梱包のようす



↑2分目ダイヤの結合のようす

※ 2分目ダイヤ・・・列車の運行計画を表した「列車運行図表」のこと

■ 就労者の仕事ぶりはいかがですか。また周りの方への影響はありますか？

個人差はありますが、皆非常にまじめに取り組んでいてくれるなと感じているところです。4月に入社しましたが、コロナウイルス感染症拡大の影響により本格的に業務を開始したのは7月からでした。実際に業務を開始して数か月ですが、この数か月間にも、業務に取り組む姿勢や言葉遣いなど、学生から社会人に少しずつ変わっていているなと感じています。

特にあいさつは、JR九州グループの取り組みでも重要事項となっています。私たちが働くビル内にはJR九州の本社があり、JR九州の社員やお客様と廊下ですれ違う事があります。いろいろな方々でごあいさつする機会があり、弊社の社員から元気良いあいさつを受けたJR九州の社員の方々から、自分のあいさつを見直すきっかけになったと言っただき、大変ありがたく思っております。

■ 仕事をするにあたって心掛けていることや工夫していることはありますか？

まずは、業務の作業手順を統一するというのが大事だと思っています。業務ごとにマニュアルを作成し、指導するスタッフも統一した指導が行えるということ、業務を行う本人自身がマニュアルを見て、わからない所は自分の力で解決できる体制を整えていることが一番大きな工夫であると思います。

■ 就労者について今後期待することはありますか？

今年事業を開始したばかりの会社で、入社した新入社員6名はこの会社の1期生ということになります。今後は先輩も入ってくるので、まずは社会人として成長して欲しいという気持ちがあります。会社も設立したばかりで、今後についてはまだ手探りの所もありますが、まずはこの6名で仲良くしっかり頑張りたいと思います。

■ 家庭や学校でどのような就労への支援・取り組みが必要ですか？

ご家庭でも学校でも共通して言えることですが、まずは基本的な労働習慣を身に付ける教育を行っていただきたいと思っています。先ほどご説明したあいさつと身だしなみについては、特に弊社で力を入れているところです。また、継続して働き続ける力、体力です。この2点をご家庭や学校で養っていただきたいです。弊社を問わず、働くにあたってはどこの企業でも必要とされることだと思っています。弊社で働くか、別の企業で働くか、本当にやりたい仕事は実習をして判断していただければと思いますし、能力(スキル)というのはその後の話かと思っています。



↑会議のようす





JR九州パレットワーク株式会社 就労者 アンケート



Q.1 仕事でどのような事を頑張っていますか？

- ・ 日報業務で大きな声でハキハキと挨拶することや、運行管理部様のシーツ交換で素早くかつ丁寧に進めることです。
- ・ 同じ作業をする方への声かけ、協力すること。
- ・ 仕事で使う道具や商品の扱いに気を付けながら最後まで集中して頑張っている。
- ・ 日報や色々な業務を頑張っています。

Q.2 仕事で大変なことはどのようなことですか？

- ・ 周りの人とのコミュニケーションを取るのが大変だったり、効率の良い方法を見つけたりするのが大変。
- ・ どの仕事でもそうですが、やはり確認会話※1です。あと2分目ダイヤ※2の結合は大変です。
- ・ 覚える事が多いこと。2分目ダイヤ※2の結合がうまくいかず大変なこと。

※1 仕事の内容を確認すること ※2 2分目ダイヤ 前頁参照

Q.3 いつ頃から働きたいと思いましたか？ また働きたいと思ったきっかけは何ですか？

- ・ 高等部3年生から働きたいと思った。きっかけは自分が稼いだお金で旅行に行ってみたり、1人暮らしをしたいと思ったから。
- ・ 去年の9月頃です。去年2回の実習をさせてもらって、ポスターが自分の得意業務で、それ以外にも日報や資料の電子化など自分に合う仕事があり、さらに会社の雰囲気がすごく良かったので、この会社を志望しました。

Q.4 お休みの日は何をして過ごすことが多いですか？

- ・ ゲームか動画・アニメ・音楽等の鑑賞。用事がある時は、買い物に行く。
- ・ 家でゆっくりしていることが多いです。
- ・ 趣味であるゲームやアニメ鑑賞、博多や天神に出かけること。
- ・ ゲーム、携帯(自分1人で動画を鑑賞する)、姉との動画鑑賞。



特例子会社とは？

障がい者雇用率制度においては、障がい者の雇用機会の確保は個々の事業主(企業)ごとに義務づけられている。一方、障がい者雇用の促進及び安定を図るため、事業主が障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、実雇用率を算定できることとしている。

また、特例子会社を持つ親会社については、関係する子会社を含め、企業グループによる実雇用率算定を可能としている。

▶ [厚生労働省「特例子会社」制度の概要](#) より

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6

【TEL】092-845-0015 【FAX】092-845-0025

【E-mail】yume_network@city.fukuoka.lg.jp

【HP】<http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

